

第4節 安全なまちづくり

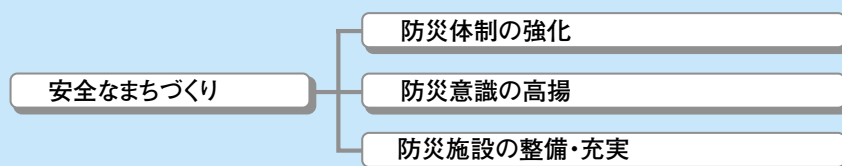
現状と課題

自然災害をはじめとするあらゆる災害から住民の生命と財産を守り、住民が安心して暮らせるまちづくりを進めることは、行政の最も基本的で重要な役割です。

本町は、東南海・南海地震の地震防災対策推進地域に指定されているとともに、これらを想定した対策が求められています。このため、阪神・淡路大震災などの教訓を活かし、さまざまな角度から検討を加え、防災体制の確立に努めています。

災害に強いまちづくりを進めるためには、日頃から住民一人ひとりが自主防災の意識をもち、災害発生時に的確に対処できる知識を身につけ、地域の人々が協力して防災活動を行っていく自主防災組織の育成が重要です。本町では、平成17年度までに自治会単位の自主防災組織が町内で4団体設立されています。また、常備消防としての山辺広域行政事務組合を補完する消防組織として、6分団93名で組織された田原本消防団がありますが、近年は若年層の団員の確保が課題となっています。また、多数の防災関連機関の参加と協力による防災訓練を充実し、地域社会を含めた防災体制を確立していく必要があります。

さらに、災害発生時に迅速に対応し、被害を最小限にとどめるためには、地域防災ネットワークを確立し、災害情報の収集・伝達体制を整備しておくことが重要です。さらに、想定される災害の規模や内容を検討し、避難所の位置や設備、避難経路の見直しを進めるなど、防災対策の充実に努めていかなければなりません。



施 策

1. 防災体制の強化

① 防災計画の整備、危機管理体制の確立

東南海・南海地震対策や風水害などによる河川災害対策を想定し、平成16年度に見直しを行った地域防災計画の実施に努めます。また、危機管理に対する組織体制の強化及び危機管理マニュアルの整備を進めます。

② 水防対策の強化

今後も河川や水路の管理施設等の巡視を強化し、水害の未然防止に努めます。

③ 住民による防災活動の推進

地域の実情に応じ、自治会などを中心とした自主防災組織の育成に努めるとともに、防災体制との連携を図ります。また、災害発生時に個人、グループ、企業などのボランティアが被災者の要請に応じて円滑に活動できるよう、関係機関と連携し、活動体制や環境などの整備を図ります。

④ 情報収集伝達体制の強化

奈良県防災行政通信ネットワークシステムを活用し、情報の伝達・収集機能の強化を図ります。

⑤ 広域応援体制の整備と強化

広域的な防災対策を円滑に進めるため、情報連絡体制の整備など相互応援体制を強化するとともに、災害の規模や内容を想定し新たな広域応援体制の整備に努めます。

⑥ 消防体制の強化

山辺広域行政事務組合と連携し、消防車両や資機材の整備を進めるとともに、人材の育成・強化・消防団活動の充実に努め、消防力の向上を図ります。

⑦ 国民保護計画の推進

武力攻撃を受けた場合や大規模テロが発生した場合、住民の生命、身体及び財産を保護し、住民生活に与える影響が最小となるよう、関係機関の役割分担やその具体的な措置を定める国民保護計画の推進を図ります。

2. 防災意識の高揚

①防災意識の醸成

広報やホームページなどあらゆる広報媒体を活用し、災害に対する準備の必要性について理解を深めてもらうなど、危機管理・防災意識の醸成に努めます。

②防災訓練の推進

住民や防災関連機関の参加のもと、定期的に防災訓練を実施し、地域における連携体制及び防災力の強化に努めます。

③情報提供の推進

地域の状況に応じた洪水ハザードマップを作成し、危険箇所をはじめ、避難所や避難経路の見直しと周知徹底を図り、住民が安全に避難できるよう、情報提供に努めます。

3. 防災施設の整備・充実

①耐震化の推進

防災拠点施設、学校や避難所など地震防災上緊急に整備すべき施設などから計画的に耐震化を進めます。また、一般住宅についても広報などを通じ、耐震化に対する情報提供を行うなど、住宅の耐震化を促進します。

②避難路・避難所の整備と周知徹底

避難所の適正配置と充実に努めるとともに、毛布や食料品などの生活必需品の備蓄及び円滑な供給体制の整備を進めます。

③防災資機材の充実

土のう、杭、シート、スコップなどの防災資機材の充実に努めます。



● 救急出動件数の推移（田原本町内）

単位:件

| 平成13年 | 平成14年 | 平成15年 | 平成16年 | 平成17年 |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1,243 | 1,168 | 1,243 | 1,254 | 1,371 |

● 火災発生件数の推移（田原本町内）

単位:件

| 年度 | 総数 | 建物 | 車両 | その他 |
|-------|----|----|----|-----|
| 平成8年 | 6 | 5 | 1 | - |
| 平成9年 | 8 | 8 | - | - |
| 平成10年 | 1 | 1 | - | - |
| 平成11年 | 10 | 10 | - | - |
| 平成12年 | 16 | 12 | 2 | 2 |
| 平成13年 | 9 | 6 | 1 | 2 |
| 平成14年 | 18 | 11 | 4 | 3 |
| 平成15年 | 6 | 6 | - | - |
| 平成16年 | 22 | 13 | 4 | 5 |
| 平成17年 | 5 | 3 | - | 2 |

● 消防の現況（磯城消防署 平成18年4月1日現在）

| 常備 消防 | 職員数 | 梯子車 | 水槽付 ポンプ 自動車 | ポンプ 自動車 | 救急車 | 広報車 | 小型動力 ポンプ 積載車 | 単車 | 小型動力 ポンプ | 貨物車 |
|----------|-----|-----|-------------------|------------|-----|-----|--------------------|----|-------------|-----|
| | 40人 | 1台 | 2台 | 1台 | 2台 | 1台 | 1台 | 5台 | 1台 | 1台 |

| 田原本 消防団 | 分団数 | 団員数 | 消防ポンプ 自動車 |
|------------|-----|-----|--------------|
| | 6分団 | 93人 | 6台 |

